

お茶の水女子大学学报

平成 2 年 11 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇関係法令 2

◇学内規則 2
お茶の水女子大学学生部の改組に伴う関係
規程の整理に関する規程 2

お茶の水女子大学一般教育委員会規程の一部
改正 3

お茶の水女子大学奨学寄附金受入規程の制定 3

お茶の水女子大学委任経理金取扱規程の制定 4

◇人 事 5
各種委員会委員 11
新任部局長紹介 20

◇学 事 21
平成3年度お茶の水女子大学学生募集要項(細目) ... 21

平成3年度お茶の水女子大学大学院
人文科学研究科(修士課程)学生募集要項 30

◇諸 報 34
平成2年9月卒業式・学位記授与式 34
総合防災訓練について 35
海外渡航 35
研 修 36
レクリエーション行事 36
健康診断 38
人事院規則9-80(扶養手当)の一部改正に
ついて 38
訃 報 38

◇日 誌 38

関係法令

【政 令】

○国立学校設置法施行令の一部を改正する政令（政令第287号、9月28日官報）

【省 令】

○国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第24号、10月1日官報）

○国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（文部省令第25号、10月1日官報）

○教育公務員特例法施行令第一条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令（文部省令第26号、10月1日官報）

【規 則】

○人事院規則9-80（扶養手当）の一部を改正する人事院規則（人事院規則9-80-2、9月1日官報）

○人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（人事院規則16-0-10、9月29日官報）

○人事院規則16-3（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する人事院規則（人事院規則16-3-13、9月29日官報）

○人事院規則16-4（補償及び福祉施設の実施）の一部を改正する人事院規則（人事院規則16-4-7、9月29日官報）

○人事院規則9-30（特殊勤務手当）の一部を改正する人事院規則（人事院規則9-30-9、10月1日官報）

【告 示】

○出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2号の基準を定める省令の研修の在留資格に係る基準の5号の特例を定める件（法務省告示第246号、8月17日官報）

○同基準の6号の特例を定める件（法務省告示第247号、8月17日官報）

○平成3年度科学研究費補助金の計画書の提出期間を定める件（文部省告示第103号、9月5日官報）

○行政機関の保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、行政機関が平成2年9月20日現在で保有している個人情報ファイル及び保有をやめた個人情報ファイルを告示（総務庁告示第71号、10月1日官報）

○文部省の保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する権限又は事務の一部の委任を受ける職員及び委任する権限又は事務の範囲の一部を改正する件（文部省告示第108号、10月1日官報）

学 内 規 則

○お茶の水女子大学規則第15号

お茶の水女子大学学生部の改組に伴う関係規程の整理に関する規程を次のように定める。

平成2年9月26日

お茶の水女子大学長 河野重男

お茶の水女子大学学生部の改組に伴う関係規程の整理に関する規程

（教務委員会規程の一部改正）

第1条 お茶の水女子大学教務委員会規程（昭和56年2月26日制定）の一部を次のように改正する。

第9条第1項中「学生課長」を「学務課長」に、同条第2項中「学生課」を「学務課」に改める。

（一般教育委員会規程の一部改正）

第2条 お茶の水女子大学一般教育委員会規程（昭和56年2月26日制定）の一部を次のように改正する。

第10条第1項中「入学主幹」を「学務課長」に、同条第2項中「入学主幹室」を「学務課」に改める。

（外国人留学生委員会規程の一部改正）

第3条 お茶の水女子大学外国人留学生委員会規程（昭和62年2月27日制定）の一部を次のように改正する。

第8条中「学生課」を「学務課」に改める。

(公開講座委員会規程の一部改正)

第4条 お茶の水女子大学公開講座委員会規程(昭和56年12月16日制定)の一部を次のように改正する。

第8条第1項中「入学主幹」を「学務課長」に、同条第2項中「入学主幹室」を「学務課」に改める。

(学生委員会規程の一部改正)

第5条 お茶の水女子大学学生委員会規程(昭和27年8月9日制定)の一部を次のように改正する。

第9条第1項中「及び厚生課長」を削る。

(学寮委員会規程の一部改正)

第6条 お茶の水女子大学学寮委員会規程(昭和40年10月31日制定)の一部を次のように改正する。

第9条中「厚生課」を「学生課」に改める。

(小石川寮運営委員会規程の一部改正)

第7条 お茶の水女子大学小石川寮運営委員会規程(昭和56年9月30日制定)の一部を次のように改正する。

第3条第1項第3号中「厚生課長」を「学生課長」に改め、第9条中「厚生課」を「学生課」に改める。

(保健管理センター運営委員会規程の一部改正)

第8条 お茶の水女子大学保健管理センター運営委員会規程(昭和47年7月12日制定)の一部を次のように改正する。

第9条中「学生部厚生課」を「学生課」に改める。

(食堂運営委員会規程の一部改正)

第9条 お茶の水女子大学食堂運営委員会規程(昭和30年12月24日制定)の一部を次のように改正する。

第3条中「厚生課長の職にある者 当該職にある間」を削り、第9条中「学生部厚生課」を「学生課」に改める。

(学寮規程の一部改正)

第10条 お茶の水女子大学学寮規程(昭和40年10月31日制定)の一部を次のように改正する。

第15条中「学生部厚生課」を「学生課」に改める。

(保健管理センター規程の一部改正)

第11条 お茶の水女子大学保健管理センター規程(昭和47年7月12日制定)の一部を次のように改正する。

第8条中「学生部厚生課」を「学生課」に改める。

附 則

この規程は、平成2年9月26日から施行し、平成2年6月8日から適用する。

○お茶の水女子大学規則第16号

お茶の水女子大学一般教育委員会規程の一部を改正

する規程を次のように定める。

平成2年10月24日

お茶の水女子大学長 河野重男

お茶の水女子大学一般教育委員会規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学一般教育委員会規程(昭和56年2月26日制定)の一部を次のように改正する。

第5条第1項及び第2項中「委員長」の次に「及び副委員長」を加え、第3項の次に次の1項を加える。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

附 則

この規程は、平成2年10月24日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第17号

お茶の水女子大学奨学寄附金受入規程を次のように定める。

平成2年10月24日

お茶の水女子大学長 河野重男

お茶の水女子大学奨学寄附金受入規程

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学における奨学を目的とする寄附金及び有価証券(以下「奨学寄附金」という。)の受入れについては、奨学寄附金受入事務取扱規程(昭和38年文部省訓令)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(定義)

第2条 この規程において「部局」とは、事務局、学生部(保健管理センターを含む。)、各学部、大学院人間文化研究科、附属図書館、女性文化研究センター、生活環境研究センター及び各附属学校をいう。

2 この規程において「部局長」とは、前項の部局長をいう。

(受入れの制限)

第3条 次の各号の一に該当する奨学寄附金は、受入れてはならない。

一 地方公共団体からの寄附に係るもの。

二 奨学寄附金を受入れることによって既定予算以外の財政負担を生ずるもの。

2 前項に定めるもののほか、次に掲げる条件が付されている奨学寄附金は、受入れることができない。

一 奨学寄附金により取得した財産を寄附者に無償で譲渡すること。

二 奨学寄附金による学術研究の結果得られた特許権、実用新案権、意匠権、商標権及び著作権その他これらに準ずる権利を寄附者に譲渡し、又は使用させること。

三 奨学寄附金の使用について、寄附者が会計検査を行うこと。

四 寄附申込後、寄附者がある意思により奨学寄附金の全部又は一部を取り消すことができること。

五 前各号に掲げるもののほか、学長が特に支障があると認めるもの。

(受入れの審査)

第4条 部局長は、奨学寄附金申込書を受理したときは、当該部局の教授会若しくは研究科会議又は運営委員会（事務局、学生部及び各附属学校にあっては、学長が指定する委員会又は会議）で審査のうえ、意見を付して学長に提出するものとする。

2 部局長は、前項の審査を行うに当たっては、あらかじめ、事務局長と協議するものとする。

(受入れの決定)

第5条 学長は、奨学寄附金の受入れを決定したときは、奨学寄附金申込書を受理した部局長を経由して寄附申込者に通知するものとする。

附 則

1 この規程は、平成2年10月24日から施行する。

2 お茶の水女子大学奨学寄附金委任経理金事務取扱規程（昭和59年11月28日制定）は、廃止する。

○お茶の水女子大学規則第18号

お茶の水女子大学委任経理金取扱規程を次のように定める。

平成2年10月24日

お茶の水女子大学長 河野重男

お茶の水女子大学委任経理金取扱規程

(趣旨)

第1条 国立学校特別会計法（昭和39年法律第55号）第17条の規定に基づいて文部大臣から交付された委任経理金の取扱いについては、奨学寄附金委任経理金事務取扱規則（昭和39年文部省令第14号）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(定義)

第2条 この規程において「部局」とは、事務局、学生部（保健管理センターを含む。）、各学部、大学院人間文化研究科、附属図書館、女性文化研究センター、生活環境研究センター及び各附属学校をいう。

2 この規程において「部局長」とは、前項の部局長をいう。

(委任経理金の出納保管)

第3条 学長は、奨学交付金の交付を受けたときは、その出納保管を歳入歳出外現金出納官吏（以下「出納官吏」という。）に命ずるとともに関係の部局長に通知するものとする。

(委任経理金の受入れ)

第4条 出納官吏は、前条の規定により委任経理金を受入れたとき、又は委任経理金の預託により生じた利子を受入れたときは、委任経理金受入計算書を作成しなければならない。

(委任経理金の払出し)

第5条 部局長（寄附者が研究内容の指定とともに研究担当者を指定している場合は、当該研究担当者）は、委任経理金の払出しを必要とするときは、必要な書類を添えて、学長に申出するものとする。

2 学長は、前項の申出があった場合は、委任経理金支出計算書に基づいて委任経理金の払出しを出納官吏に命ずるものとする。

3 委任経理金の払出しは、歳出予算の支出の例による。

(委任経理金の使途変更)

第6条 学長は、研究担当者の退職又は転出等により、当該委任経理金に付された使途に使用することができなくなった旨の報告を受けた場合は、使途の変更又は他の国立学校への移替えの手続きを執るものとする。寄附目的が達せられ、委任経理金の残額が千円未満となった場合も、同様とする。

附 則

この規程は、平成2年10月24日から施行する。

人 事

○常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
2.8.24	尾 田 幸 雄	附属高等学校事務代理(免)	公の名称	(文教育学部教授)
2.8.30	清 田 淳 子	職務復帰	復職	附属中学校教諭
"	渡 辺 朋 華	平成2年8月29日限り 任期満了退職	退職	"
2.8.31	三 橋 通 子	辞職承認	"	附属小学校教諭
"	深 山 正 代	臨時的任用更新 任期2.10.25まで	臨時的任用	附属中学校教諭
2.9.1	浅 田 常 明	施設課工営第一係長	配置換	施設課工営係長
"	阿 南 利 隆	施設課工営第二係長	転任	長岡工業高等専門学校会 計課施設係長
"	蒲 生 裕 子	休職更新 期間2.12.31	休職	附属高等学校教諭
2.9.12	小 島 千加子	附属小学校教諭	採用	
2.10.1	相 庭 洋 子	助手(大学院人間文化研究科)	"	
"	坂 下 英 喜	講師(文教育学部)	配置換	附属中学校教諭
"	西 野 真由美	国立教育研究所研究員	転任	助手(大学院人間文化研 究科)
"	平 野 恒 夫	教授(理学部)	昇任	東京大学助教授工学部
"	杉 山 進	助教授(文教育学部)	"	講師(文教育学部)
"	大 口 勇次郎	文教育学部長 評議員 併任期間4.9.30まで	併任	(文教育学部教授)
"	徳 丸 吉 彦	評議員 併任期間3.9.30まで	"	(文教育学部教授)
"	坂 下 英 喜	附属中学校教諭 併任期間2.11.30まで	"	(文教育学部講師)
"	加 賀 秀 夫	評議員	併任解除	(文教育学部教授)
"	杉 本 正 哉	文教育学部長事務代理(命)	公の名称	"
2.10.10	"	文教育学部長事務代理(免)	"	"
2.10.16	茶 園 幸 子	附属高等学校教諭	採用	
"	内 田 伸 子	教授(文教育学部)	昇任	助教授(文教育学部)

○非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
2.8.31	井深鈴子	辞職承認		庶務課
"	北村千秋	"		附属高等学校
2.9.1	沼田香穂里	教務補佐員(文教育学部)	2.9.1~3.3.31	
"	黄仁庸	事務補佐員(附属図書館)	2.9.1~2.12.22	
2.9.14	竹部正二	辞職承認		施設課
2.9.30	王研	"		附属図書館
2.10.1	橋口聡子	事務補佐員(附属図書館)	2.10.1~3.3.31	
"	伊藤千恵	"	"	
"	ノリタ・サンセダ	教務補佐員(家政学部)	"	
"	若宮弘子	"	"	
"	景山裕美子	"	"	
"	鈴木美緒子	"	"	
"	横村愛	事務補佐員(家政学部)	"	
"	藤田純子	"	"	
2.10.15	山本美智子	辞職承認		附属高等学校
2.10.16	瀬尾弘子	教務補佐員(家政学部)	2.10.16~3.3.31	
"	田辺洋子	"	"	
"	中山まき子	教務補佐員(女性文化研究センター)	"	
"	神保京子	事務補佐員(附属高等学校)	"	

○非常勤講師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
2.9.1	湯田 浩太郎	講師(理学部)	2.9.1～2.9.30	富士通(株)システムエンジニア
"	井部 成子	講師(附属高等学校)	2.9.1～2.10.31	
2.9.21	藤川 節子	講師(附属中学校)	2.9.21～3.3.31	
2.10.1	安藤 正人	講師(文教育学部)	2.10.1～3.3.31	国文学研究資料館 助教授
"	狩野 久	"	"	文化庁主任文化財 調査官
"	飯島 千秋	"	"	横浜商科大学助教授
"	本宮 一男	"	"	横浜市立大学講師
"	鈴木 陽子	"	"	
"	伊藤 喜栄	"	"	慶応義塾大学教授
"	山田 安彦	"	"	千葉大学教授
"	青野 壽彦	"	"	中央大学教授
"	二瓶 直子	"	"	
"	渡辺 真紀子	"	"	中央学院大学講師
"	高倉 翔	"	"	筑波大学教授
"	清水 康幸	"	"	野間教育研究所 研究員
"	桑原 敏明	"	"	筑波大学教授
"	矢口 悦子	"	"	
"	渡部 真	"	"	横浜国立大学助教授
"	松野 安男	"	"	東洋大学教授
"	中村 泉	"	"	帝京大学助教授
"	内山 美樹子	"	"	早稲田大学教授
"	増島 篤	"	"	東芝中央病院 外科医長
"	厚木 義松	"	"	
"	柴垣 和夫	"	"	東京大学教授
"	清水 昭俊	"	"	広島大学助教授
"	吉田 博子	"	"	淑徳保育生活文化専 門学校講師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
2.10.1	吉田裕亮	講師(文教育学部)	2.10.1~3.3.31	統計数理研究所助手
"	丸山武美子	"	"	
"	築島史恵	"	"	
"	児玉すみ子	"	"	横浜国立大学講師
"	流田直	"	"	附属小学校教諭
"	上田のり子	"	"	"
"	水谷忠良	講師(理学部)	"	埼玉大学教授
"	寶来正子	"	"	東京工業大学助教授
"	宮島静雄	"	"	東京理科大学助教授
"	伊藤清三	"	"	杏林大学教授
"	大矢雅則	"	"	東京理科大学教授
"	齋藤明	"	"	日本大学講師
"	高木亮一	"	"	千葉大学教授
"	上坪宏道	"	"	理化学研究所主任 研究員
"	古森良志子	"	"	神奈川県立衛生短期 大学助手
"	川崎恭治	"	"	九州大学教授
"	林利彦	"	"	東京大学教授
"	溝口元	"	"	立正大学短期大学部 助教授
"	今市涼子	"	"	玉川大学助教授
"	宮下和喜	"	"	東京都立大学教授
"	武久慎	"	"	慶応義塾大学教授
"	鈴木季直	"	"	帝京大学講師
"	守隆夫	"	"	東京大学助教授
"	堀田凱樹	"	"	東京大学教授
"	山元大輔	"	"	三菱化成生命科学 研究所主任研究員
"	松本元	"	"	電子技術総合研究所 技官
"	山本直樹	"	"	森林総合研究所技官

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
2.10.1	鳥山尚志	講師(理学部)	2.10.1～3.3.31	東京大学助教授
"	村松正實	"	"	東京大学教授
"	矢原一郎	"	"	東京都臨床医学総合研究所部長
"	駒崎伸二	"	"	埼玉医科大学助手
"	菅原淳	"	"	国立環境研究所技官
"	佐藤和郎	"	"	東京大学講師
"	原園としえ	"	"	
"	武市正人	"	"	東京大学助教授
"	佐藤道幸	"	"	附属中学校教諭
"	鈴木義之	講師(家政学部)	"	東京都臨床医学総合研究所副所長
"	粟飯原景昭	"	"	食品薬品安全センター部長
"	内藤周弼	"	"	東京大学助教授
"	山口静子	"	"	味の素(株)中央研究所研究員
"	沖谷明紘	"	"	日本獣医畜産大学教授
"	山中英明	"	"	東京水産大学教授
"	中沢文子	"	"	共立女子大学教授
"	梶原裕	"	"	国立公衆衛生院技官
"	鎌田佳伸	"	"	東京農工大学助手
"	成田汀	"	"	
"	宮坂啓象	"	"	東京工業大学教授
"	坂本満	"	"	国立歴史民俗博物館教授
"	松山容子	"	"	大妻女子大学教授
"	井上勝也	"	"	筑波大学助教授
"	大塚柳太郎	"	"	東京大学助教授
"	亀高京子	"	"	東京家政学院大学教授
"	河合洋	"	"	国立小児病院技官
"	正田彬	"	"	上智大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
2.10.1	浜 英彦	講師(家政学部)	2.10.1~3.3.31	成城大学教授
"	岡崎 哲二	"	"	東京大学助教授
"	小澤 紀美子	"	"	東京学芸大学助教授
"	降旗 勝信	"	"	東京学芸大学教授
"	石黒 一憲	"	"	東京大学助教授
"	秋山 虔	講師(大学院人間文化研究科)	"	東京女子大学教授
"	富永 健一	"	"	東京大学教授
"	山本 禮子	講師(女性文化研究センター)	"	和洋女子大学教授
"	八木 江里	"	"	東洋大学教授
2.10.2	スティーブン・ マイケル・パワー	講師(附属高等学校)	2.10.2~3.2.13	
2.10.15	茶園 幸子	辞職承認		附属高等学校
2.10.16	藤川 節子	"		附属中学校

◆各種委員会委員◆ (平 2.10.1 現在)

1. () は事務担当課
2. *印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定

評議会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	2. 2. 16～4. 2. 15
文 教 育 学 部 長	大 口 勇 次 郎	2. 10. 1～4. 9. 30
理 学 部 長	細 矢 治 夫	2. 4. 1～4. 3. 31
家 政 学 部 長	本 田 和 子	1. 4. 2～3. 4. 1
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	太 田 次 郎	63. 4. 1～3. 3. 31
附 図 書 館 属 長	荒 川 信 彦	1. 4. 2～3. 4. 1
附 学 校 部 属 長	尾 田 幸 雄	2. 4. 1～5. 3. 31
文 教 育 学 部 教 授	杉 本 正 哉	1. 10. 1～3. 9. 30
文 教 育 学 部 教 授	小 川 剛	1. 10. 1～3. 9. 30
文 教 育 学 部 教 授	徳 丸 吉 彦	2. 10. 1～3. 9. 30
理 学 部 教 授	澤 島 侑 子	1. 10. 1～3. 9. 30
理 学 部 教 授	小 川 洋 輔	1. 10. 1～3. 9. 30
理 学 部 教 授	富 田 功	2. 4. 1～3. 9. 30
家 政 学 部 教 授	水 野 梯 一	1. 10. 1～3. 9. 30
家 政 学 部 教 授	中 島 利 誠	1. 10. 1～3. 9. 30
家 政 学 部 教 授	湯 沢 雅 彦	1. 10. 1～3. 9. 30

(常時評議会に出席できる者)

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	守 屋 尚	
学 生 部 長	小 林 彰 夫	2. 1. 1～3. 12. 31
一 般 教 育 委 員 会 委 員 長	柴 田 文 明	2. 4. 1～3. 3. 31
教 務 委 員 会 委 員 長	島 田 淳 子	2. 4. 1～3. 3. 31
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	荒 川 信 彦	2. 4. 1～4. 3. 31
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五 十 嵐 脩	1. 4. 1～3. 3. 31

予算委員会 (会計課)

官 職	氏 名	任 期
文 学 教 育 部 長	大 口 勇 次 郎	
理 学 部 長	細 矢 治 夫	
家 政 学 部 長	本 田 和 子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 教 授	式 正 英	1. 4. 1～3. 3. 31
文 教 育 学 部 教 授	加 賀 秀 夫	2. 10. 1～4. 9. 30
理 学 部 教 授	富 永 靖 徳	2. 4. 1～3. 3. 31
理 学 部 教 授	福 田 豊	2. 4. 1～4. 3. 31
家 政 学 部 教 授	中 島 利 誠	2. 4. 1～4. 3. 31
家 政 学 部 教 授	中 村 隆 英	1. 4. 1～3. 3. 31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	瀬 野 信 子	1. 4. 1～3. 3. 31
附 図 書 館 属 長	*荒 川 信 彦	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	荒 川 信 彦	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五 十 嵐 脩	
事 務 局 長	守 屋 尚	
学 生 部 長	小 林 彰 夫	
会 計 課 長	小 田 野 弘 和	

施設計画委員会 (施設課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文 教 育 学 部 長	大 口 勇 次 郎	
理 学 部 長	細 矢 治 夫	
家 政 学 部 長	本 田 和 子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 教 授	式 正 英	1. 10. 1～3. 9. 30
文 教 育 学 部 教 授	石 川 宏	1. 10. 1～3. 9. 30
理 学 部 教 授	遠 山 益	1. 4. 1～3. 3. 31
理 助 学 部 教 授	佐 藤 浩 史	2. 4. 1～4. 3. 31

家政学部 助教	飯長喜一郎	2.4.1～4.3.31
家政学部 教授	板倉壽郎	2.4.1～4.3.31
大学院人間文化 研究科教授	瀬野信子	1.4.1～3.3.31
附図書館 属長	荒川信彦	
附学校部 属長	尾田幸雄	
生活環境研究 センター 長	五十嵐 脩	
事務局長	守屋 尚	
学生部長	小林彰夫	
一般教育委員会 委員長	柴田文明	

館山施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細矢治夫	
文教育学部 教授	森下はるみ	2.4.1～4.3.31
文教育学部 助 教 授	杉山 進	1.10.1～3.9.30
理 学 部 教 授	瀬野信子	2.10.1～4.3.31
家政学部 助 教 授	本間清一	2.10.1～4.9.30
理学部附属海 実験所助教授	根本心一	
附属高等学 校 教 頭	石田光子	
附属中学校 教 頭	永井啓子	
附属小学校 教 頭	古畑三郎	
附属幼稚園 教 頭	村石 京	
学生部長	小林彰夫	
事務局長	守屋 尚	
会計課長	小田野弘和	
施設課長	南 芳美	

廃水管理委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	田宮兵衛	1.10.1～3.9.30

理 学 部 助 教 授	林 正 男	1.10.1～3.9.30
理 学 部 教 授	富永靖徳	1.10.1～3.9.30
理 学 部 助 教 授	藤枝修子	1.10.1～3.9.30
家政学部 教 授	小川昭二郎	1.10.1～3.9.30
家政学部 助 教 授	畑江敬子	1.10.1～3.9.30
生活環境研究 センター 教授	*五十嵐 脩	1.10.1～3.9.30
附属高等学 校 教 諭	石井朋子	1.10.1～3.9.30
附属中学校 教 諭	佐々木和枝	1.10.1～3.9.30
会計課長	小田野弘和	
施設課長	南 芳美	

レクリエーション運営委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
事務局長	*守屋 尚	
庶務課長	入江孝信	
会計課長	小田野弘和	
施設課長	南 芳美	
学務課長	福田みゆき	
学生課長	阿部 清	
入学主幹	佐藤茂夫	
文教育学部 庶務部長	豊田広一	
理 学 部 庶務部長	細井隆一	
家政学部 庶務部長	薄葉 章	
附属図書館 庶務部長	岩崎哲昌	
庶務課長 補佐	菊池昭夫	
会計課長 補佐	金井 晃	
学務課長 補佐	高野佳征	
附属学校部 庶務室長	三井田 勝	

入学試験委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文 教 育 学 部 教 長	大 口 勇 次 郎	
理 学 部 長	細 矢 治 夫	
家 政 学 部 長	本 田 和 子	
文 教 育 学 部 助 教 授	高 島 元 洋	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
文 教 育 学 部 教 授	内 藤 俊 史	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
理 学 部 長 助 教 授	永 野 肇	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
理 学 部 長 教 授	石 和 貞 男	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
家 政 学 部 長 教 授	本 間 清 一	2. 1. 1 ~ 3. 3. 31
家 政 学 部 長 助 教 授	飯 長 喜 一 郎	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
学 生 部 長	小 林 彰 夫	
事 務 局 長	守 屋 尚	
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	奥 野 剛	
情 報 処 理 セ ン タ ー 長	伊 藤 厚 子	

入学者選抜方法研究委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 助 教 授	山 本 秀 行	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	江 原 由 美 子	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
理 学 部 長 教 授	藤 原 正 彦	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
理 学 部 長 助 教 授	菅 本 晶 夫	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
家 政 学 部 長 教 授	小 川 昭 二 郎	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
家 政 学 部 長 講 師	杉 田 孝 夫	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
学 生 部 長	*小 林 彰 夫	
教 務 委 員 長	島 田 淳 子	
一 般 教 育 委 員 長	柴 田 文 明	

教務委員会（学務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 教 授	窪 添 慶 文	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	宮 原 修	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
理 学 部 長 教 授	藤 原 正 彦	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
理 学 部 長 教 授	柴 田 文 明	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
家 政 学 部 長 助 教 授	袖 井 孝 子	2. 7. 5 ~ 4. 3. 31
家 政 学 部 長 教 授	*島 田 淳 子	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
一 般 教 育 委 員 長	柴 田 文 明	
学 生 部 長	小 林 彰 夫	

一般教育委員会（学務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 助 教 授	小 風 秀 雅	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
文 教 育 学 部 教 授	海 老 根 静 江	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
理 学 部 長 教 授	藤 原 正 彦	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
理 学 部 長 教 授	*柴 田 文 明	1. 4. 1 ~ 3. 3. 31
家 政 学 部 長 助 教 授	牧 野 カ ツ コ	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
家 政 学 部 長 助 教 授	畑 江 敬 子	1. 7. 21 ~ 3. 3. 31
学 生 部 長	小 林 彰 夫	

学生委員会・学寮委員会・学生会館運営委員会
(学生課)

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 助 教 授	大 塚 常 樹	1. 10. 1 ~ 3. 3. 31
文 教 育 学 部 助 教 授	秋 山 光 文	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
理 学 部 長 助 教 授	桂 利 行	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
理 学 部 長 助 教 授	菅 本 晶 夫	1. 10. 1 ~ 3. 3. 31
家 政 学 部 長 講 師	柴 坂 寿 子	2. 4. 1 ~ 4. 3. 31
家 政 学 部 長 講 師	田 辺 新 一	1. 10. 1 ~ 3. 3. 31
学 生 部 長	小 林 彰 夫	

組織運営検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野重男	
文 教 育 学 部 学 長	大口勇次郎	
理 学 部 長	細矢治夫	
家 政 学 部 長	本田和子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	太田次郎	
附 属 図 書 館 長	荒川信彦	
附 属 学 校 部 長	尾田幸雄	
学 生 部 長	小林彰夫	
事 務 局 長	守屋尚	

将来構想検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 教 授	田中真砂子	
文 教 育 学 部 助 教 授	江原由美子	
理 学 部 教 授	富永靖徳	
理 学 部 教 授	福田豊	
家 政 学 部 教 授	島田淳子	2.10.1～4.9.30
家 政 学 部 助 教 授	無藤隆	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	徳丸吉彦	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 講 師	館かおる	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	倉田忠男	

外国人留学生委員会（学務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 教 授	*水谷信子	
文 教 育 学 部 助 教 授	平田悦朗	
文 教 育 学 部 教 授	徳丸吉彦	1.4.1～3.3.31
文 教 育 学 部		
理 学 部 教 授	富永靖徳	1.4.1～3.3.31

家 政 学 部 助 教 授	袖井孝子	1.4.1～3.3.31
家 政 学 部 講 師	柴坂寿子	2.4.1～4.3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	水野悌一	1.4.1～3.3.31
学 生 部 長	小林彰夫	

食堂運営委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	小林彰夫	
家 政 学 部 講 師	田辺新一	2.4.1～3.3.31
家 政 学 部 教 授	島田淳子	2.4.1～3.3.31
家 政 学 部 講 師	大塚恵	2.7.21～3.3.31
附 属 高 等 学 校 教 諭	小竹千香子	2.4.1～3.3.31
事 務 局 長	守屋尚	
会 計 課 長	小田野弘和	
学 生 課 長	阿部清	
家 政 学 部 総 務 係 長	海老原葵	2.4.1～3.3.31
学 生 自 治 会 委 員 長	長田由美	
小 石 川 寮 運 営 委 員 長	柳鶴恵	
大 山 寮 長	植垣真由子	

事務改善研究委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	*守屋尚	
庶 務 課 長	入江孝信	
会 計 課 長	小田野弘和	
施 設 課 長	南芳美	
学 務 課 長	福田みゆき	
学 生 課 長	阿部清	
入 学 主 幹	佐藤茂夫	
庶 務 課 長 補 佐	菊池昭夫	

会計課長補佐	金井晃
学務課長補佐	高野佳征
文教教育学部事務部長	豊田広一
理学部事務部長	細井隆一
家政学部事務部長	薄葉章
附属図書館事務部長	岩崎哲昌

発明委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
文教教育学部長	大口勇次郎	
理学部長	細矢治夫	
家政学部長	本田和子	
文教教育学部助教授	内藤俊史	2.10.1～4.9.30
理学部教授	伊藤厚子	
理学部教授	内嶋善兵衛	
家政学部教授	小川昭二郎	
生活環境研究センター教授	倉田忠男	

組替えDNA実験安全委員会（庶務課）

官職	氏名	任期
研究者 理学部教授	清水碩	1.12.16
研究者 生活環境研究センター教授	大橋昌子	
自然科学 理学部教授	瀬野信子	3.12.15
自然科学 家政学部講師	村田容常	
人文科学 文教教育学部教授	尾田幸雄	
社会科学 家政学部助教授	山本政人	
官職指定 保健管理センター所長	奥野剛	
官職指定 理学部事務部長	細井隆一	
官職指定 家政学部事務部長	薄葉章	
安主 全体者 理学部教授	能村堆子	1.12.16 3.12.15

防災委員会（会計課）

官職	氏名	任期
学長	河野重男	
文教教育学部長	大口勇次郎	
理学部長	細矢治夫	
家政学部長	本田和子	
大学院人間文化研究科長	太田次郎	
附属図書館長	荒川信彦	
附属学校部長	尾田幸雄	
学生部長	小林彰夫	
保健管理センター所長	奥野剛	
事務局長	守屋尚	
庶務課長	入江孝信	
会計課長	小田野弘和	
施設課長	南芳美	
学務課長	福田みゆき	
学生課長	阿部清	

共用体育施設等管理運営委員会（学生課）

官職	氏名	任期
学生部長	小林彰夫	
附属学校部長	尾田幸雄	
文教教育学部教授	佐藤良子	2.6.16～4.6.15
会計課長	小田野弘和	
学生課長	阿部清	

購入物品機種選定委員会（会計課）

官職	氏名	任期
文教教育学部教授	内藤博夫	2.4.1～4.3.31
文教教育学部助教授	内藤俊史	2.4.1～4.3.31
理学部教授	伊藤厚子	2.4.1～4.3.31

理学部 教授	富田 功	2.4.1~4.3.31
家政学部 教授	倉田 忠男	2.4.1~4.3.31
家政学部 教授	小川 昭二郎	2.4.1~4.3.31

公開講座委員会(学務課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教授	吉田 夏彦	2.1.20~4.1.19
文教育学部 教授	*徳丸 吉彦	2.1.20~4.1.19
文教育学部 教授	田中 真砂子	2.1.20~4.1.19
理学部 教授	前田 ミチエ	2.1.20~4.1.19
理学部 教授	菅本 晶夫	2.1.20~4.1.19
理学部 教授	内嶋 善兵衛	2.1.20~4.1.19
家政学部 教授	小池 三枝	2.1.20~4.1.19
家政学部 助教授	篠塚 英子	2.7.5~4.1.19
生活環境研究所 センター助教授	富永 典子	2.1.20~4.1.19
学生部長	小林 彰夫	

大学院研究科連絡委員会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野 重男	1.4.1~3.3.31
人文科学 研究科長	大口 勇次郎	
理学研究 科長	細矢 治夫	
家政学研 究科長	本田 和子	
人文科学 研究科教授	尾田 幸雄	
人文科学 研究科教授	森 隆夫	
理学研究 科教授	遠山 益	
理学研究 科教授	瀬野 信子	
家政学研 究科教授	大橋 昌子	
家政学研 究科教授	水野 悌一	

保健管理センター運営委員会(学生課)

官 職	氏 名	任 期
保健管理 センター所長	奥野 剛	
文教育学部 教授	野島 秀勝	2.10.1~4.9.30
文教育学部 教授	佐藤 良子	2.10.1~4.9.30
理学部 教授	桂 利行	1.9.16~3.9.15
理学部 教授	渡辺 洋子	1.9.16~3.9.15
家政学部 教授	島田 淳子	2.9.16~4.9.15
家政学部 教授	水野 悌一	2.9.16~4.9.15
附属高等学 校論	三浦 良子	2.4.1~4.3.31
附属小学 校論	横山 善美	2.4.1~4.3.31
文教育学部 助教授	杉山 進	
理学部 教授	太田 次郎	
家政学部 教授	富田 守	
学生部長	小林 彰夫	
事務局長	守屋 尚	

学芸員課程委員会(文教育学部)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教授	田中 真砂子	2.10.1~4.9.30
文教育学部 教授	小川 剛	
文教育学部 助教授	*鷹野 光行	
文教育学部 助教授	秋山 光文	
文教育学部 助教授	安田 次郎	
文教育学部 助教授	栗原 尚子	
文教育学部 助教授	平野 由起子	
理学部 教授	渡辺 洋子	
家政学部 助教授	徳井 淑子	

理学部附属臨海実験所運営委員会（理学部）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細 矢 治 夫	
理学部附属臨海実験所長	根 本 心 一	
理学部教授	富 永 靖 徳	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部助教授	松 本 勲 武	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部教授	能 村 堆 子	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部助教授	馬 場 昭 次	2. 4. 1～4. 3. 31
文教育学部助教授	田 宮 兵 衛	1. 4. 1～3. 3. 31
文教育学部助教授	久 保 幸 夫	2. 4. 1～4. 3. 31
家政学部教授	本 間 清 一	2. 4. 1～4. 3. 31
生活環境研究センター教授	大 橋 昌 子	2. 4. 1～4. 3. 31
会計課長	小 田 野 弘 和	
施設課長	南 芳 美	

理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会（理学部）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細 矢 治 夫	
RI実験室長	富 田 功	
放射線取扱主任者	所 哲 司	
文教育学部助教授	久 保 幸 夫	2. 1. 4～4. 3. 31
理学部教授	田 中 翠	2. 10. 1～4. 9. 30
理学部教授	清 水 碩	2. 10. 1～4. 9. 30
理学部助教授	松 本 勲 武	2. 10. 1～4. 9. 30
家政学部講師	大 塚 恵	1. 10. 1～3. 9. 30
生活環境研究センター助教授	富 永 典 子	2. 10. 1～4. 9. 30

理学部極低温実験室運営委員会（理学部）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細 矢 治 夫	
極低温実験室長	伊 藤 厚 子	

理学部教授	田 中 翠	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部教授	福 田 豊	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部助教授	芦 原 坦	2. 4. 1～4. 3. 31
生活環境研究センター教授	倉 田 志 男	2. 4. 1～4. 3. 31
保安監督者	所 哲 司	

情報処理センター運営委員会（理学部）

官 職	氏 名	任 期
センター長	*伊 藤 厚 子	
センター員 理学部・助教授	佐 藤 浩 史	2. 10. 1～4. 9. 30
文教育学部助教授	久 保 幸 夫	2. 10. 1～4. 9. 30
文教育学部助教授	内 藤 俊 史	2. 10. 1～4. 9. 30
理学部助教授	桂 利 行	2. 10. 1～4. 9. 30
理学部助教授	藤 枝 修 子	2. 10. 1～4. 9. 30
家政学部教授	小 川 昭 二 郎	2. 10. 1～4. 9. 30
家政学部講師	犬 塚 伝 也	2. 10. 1～4. 9. 30
大学院人間文化研究科教授	富 永 靖 徳	2. 10. 1～4. 9. 30
女性文化研究センター教授	原 ひろ子	2. 10. 1～4. 9. 30
生活環境研究センター教授	大 橋 昌 子	2. 10. 1～4. 9. 30
附属図書館長	荒 川 信 彦	
学生部長	小 林 彰 夫	
一般教育委員会 委員長	柴 田 文 明	

附属図書館運営委員会（附属図書館）

官 職	氏 名	任 期
附属図書館長	*荒 川 信 彦	1. 4. 2～3. 4. 1
文教育学部教授	白 藤 禮 幸	2. 10. 1～4. 9. 30
文教育学部助教授	今 西 典 子	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部助教授	今 野 美 智 子	2. 4. 1～4. 3. 31
理学部講師	亀 井 理	2. 4. 1～4. 3. 31
家政学部教授	小 池 三 枝	2. 4. 1～4. 3. 31

家政学部 講師	杉田 孝夫	1.4.1～3.3.31
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	2.4.1～4.3.31
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	2.4.1～4.3.31
一般教育 委員会委員長	柴田 文明	

女性文化研究センター運営委員会（附属図書館）

官 職	氏 名	任 期
女性文化研究 センター長	*荒川 信彦	2.4.1～4.3.31
文教育学部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	本田 和子	
大学院人間文化 研究科長	太田 次郎	
附属図書館長	荒川 信彦	
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	
女性文化研究 センター講師	館 かおる	
文教育学部 教授	田中 真砂子	2.4.23～4.4.22
理学部 教授	前田 侯子	2.4.23～4.4.22
家政学部 教授	小池 三枝	2.4.23～4.4.22
事務局長	守屋 尚	

女性文化研究センター研究委員会（附属図書館）

官 職	氏 名	任 期
女性文化研究 センター長	*荒川 信彦	
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	
女性文化研究 センター講師	館 かおる	
文教育学部 教授	大口 勇次郎	64.1.1～2.12.31
文教育学部 教授	堤 清二	2.9.1～4.3.31
文教育学部 教授	水谷 信子	64.1.1～2.12.31
文教育学部 教授	佐藤 保	2.9.1～4.8.31
理学部教授	沢島 侑子	2.9.1～4.8.31

理学部教授	細矢 治夫	64.1.1～2.12.31
理学部教授	清水 碩	2.9.1～4.8.31
家政学部 教授	本田 和子	2.9.1～4.8.31
家政学部 教授	袖井 孝子	64.1.1～2.12.31
女性文化研究 センター研究員	松田 久子	元.4.1～3.3.31

生活環境研究センター運営委員会（家政学部）

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究 センター長	*五十嵐 脩	
文教育学 部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	本田 和子	
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	
生活環境研究 センター助教授	富永 典子	
文教育学部 教授	式 正英	1.4.1～3.3.31
理学部 教授	新関 滋也	2.5.1～4.3.31
家政学部 教授	島田 淳子	2.4.1～4.3.31
家政学部 教授	本間 清一	2.4.1～4.3.31
事務局長	守屋 尚	

生活環境研究センター研究委員会（家政学部）

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究 センター長	*五十嵐 脩	
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	
生活環境研究 センター助教授	富永 典子	
文教育学部 教授	井内 昇	1.7.1～3.6.30
文教育学部 教授	森下 はるみ	1.7.1～3.6.30
理学部 助教授	松本 勲武	1.7.1～3.6.30

理学部 助教	芦原 担	1. 7. 1~3. 6. 30
家政学部 教授	島田 淳子	1. 4. 1~3. 3. 31
家政学部 教授	板倉 壽郎	1. 7. 1~3. 6. 30
家政学部 助教	篠塚 英子	1. 4. 1~3. 3. 31
家政学部 助教	無藤 隆	1. 7. 1~3. 6. 30

附属学校委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*尾田 幸雄	
文教育学部 教授	森 隆夫	2. 4. 1~3. 3. 31
理学部 教授	田中 翠	2. 4. 1~4. 3. 31
家政学部 教授	島田 淳子	2. 4. 1~4. 3. 31
事務局長	守屋 尚	
附属小学校長	遠山 益	
附属中学校長	上野 浩道	
附属高等学校長	湯沢 雍彦	
附属幼稚園長	三木 紀人	
附属小学校教頭	古畑 三郎	
附属中学校教頭	永井 啓子	
附属高等学校 教頭	石田 光子	
附属幼稚園 教頭	村石 京	

附属学校教育研究委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*尾田 幸雄	
文教育学部 教授	春日 喬	2. 4. 1~4. 3. 31
理学部 教授	伊藤 厚子	2. 4. 1~4. 3. 31
家政学部 教授	牧野 カツ子	2. 4. 1~4. 3. 31
教育学科 助教授	宮原 修	1. 4. 1~3. 3. 31
児童学 助教授	無藤 隆	2. 4. 1~4. 3. 31
附属小学校長	遠山 益	
附属中学校長	上野 浩道	
附属高等学校長	湯沢 雍彦	
附属幼稚園長	三木 紀人	
附属小学校 教頭	古畑 三郎	
附属中学校 教頭	永井 啓子	
附属高等学 校教頭	石田 光子	
附属幼稚園 教頭	村石 京	
附属小学校 教諭	古市 憲一	2. 4. 1~4. 3. 31
附属小学校 教諭	横山 善実	2. 4. 1~4. 3. 31
附属中学校 教諭	益地 憲一	2. 4. 1~4. 3. 31
附属中学校 教諭	秋山 晶子	2. 4. 1~4. 3. 31
附属高等学 校教諭	石井 朋子	2. 4. 1~4. 3. 31
附属高等学 校教諭	谷田部 玲生	2. 4. 1~4. 3. 31
附属幼稚園 教諭	豊田 一秀	2. 4. 1~4. 3. 31
附属幼稚園 教諭	田中 三保子	2. 4. 1~4. 3. 31

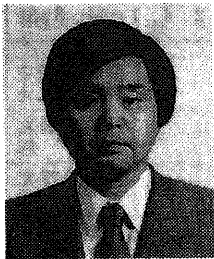
○学科主任

学 部	学 科 等	職 名	氏 名	
文 教 育 学 部	哲 学 科	教 授	土 屋 賢 二	
	史 学 科	"	青 木 和 夫	
	地 理 学 科	"	式 正 英	
	国 文 学 科	"	堤 精 二	
	外 国 文 学 科			
	中国文学・中国語学	助教授	藤 山 和 子	
	英文学・英語学	教 授	宮 川 幸 久	
	独文学・独語学	"	杉 本 正 哉	
	仏文学・仏語学	"	中 川 信	
	教 育 学 科			
	教 育 学	"	田 中 眞 砂 子	
	心 理 学	"	藤 永 保	
	舞 踊 教 育 学 科			
	舞 踊 教 育 学	"	加 賀 秀 夫	
音 楽 教 育 学	"	徳 丸 吉 彦		
理 学 部	数 学 科	"	藤 原 正 彦	
	物 理 学 科	"	富 永 靖 徳	
	化 学 科	"	前 田 侯 子	
	生 物 学 科	"	清 水 碩	
	情 報 科 学 科	"	小 山 敏 子	
家 政 学 部	児 童 学 科	"	黒 田 淑 子	
	食 物 学 科	"	本 間 清 一	
	被 服 学 科	"	小 池 三 枝	
	家 庭 経 営 学 科	"	富 田 守	

新任部局長紹介

文教育学部長

(任期 平成2年10月1日～平成4年9月30日)(新任)



氏 名 大口 勇次郎
 生年月日 昭和10年8月30日
 出身地 東京都
 専 攻 日本史学

〔略 歴〕

昭和34年3月 東京大学文学部国史学科卒業
 36年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了

39年4月 東京大学助手

41年4月 お茶の水女子大学文教育学部講師

43年4月 同 助教授

53年2月 同 教 授

63年1月 学生部長(平成元年12月まで)

〔趣 味〕

テニス、クリケット(今夏、イギリスで興味をもち、ボールや関連書物を手に入れてきました。)

〔モットー〕

自然体

〔就任の言葉〕

来年4月から、日本言語文化専攻の修士課程の開設が認められる予定です。学部をもたない独立専攻、社会人入学など、新しい試みでスタートする大学院を大事に育てたいと思います。

学 事

○平成3年度お茶の水女子大学学生募集要項（細目）

1. 学部・学科別募集人員

学部	学 科	募集人員	備 考	
文 教 育 学 部	哲 学 科	24		
	史 学 科	23		
	地 理 学 科	22	推薦入学5名程度を含む	
	国 文 学 科	35	推薦入学7名程度を含む	
	外 国 文学科	中国文学・中国語学	12	推薦入学4名程度を含む
		英文学・英語学	37	
		仏文学・仏語学	8	
	教 育 学 科	教 育 学	23	
		心 理 学	17	
	舞 踊 教 育 学 科	舞 踊 教 育 学	18	
		音 楽 教 育 学	13	
	計		232	
	理 学 部	数 学 科	25	推薦入学6名以内及び帰国子女特別選抜若干名を含む
物 理 学 科		25	推薦入学5名以内を含む	
化 学 科		25		
生 物 学 科		27	推薦入学7名以内を含む	
情 報 科 学 科		40		
計		142		
家 政 学 部	児 童 学 科	40	推薦入学5名以内を含む	
	食 物 学 科	37		
	被 服 学 科	36		
	家 庭 経 営 学 科	33		
	計		146	

2. 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成3年度大学入試センター試験を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成3年3月修了見込みの者

- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 大学入試センター試験で受験を要する教科等

受験を要する 教科名等 学部等名	受験を要する 教科名	受験を要する 教科数
文 教 育 学 部	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
理 学 部	国語 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	4教科
家 政 学 部	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科

*「現代社会」及び「理科Ⅰ」は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者は、解答できない。
※「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」及び「工業数理」は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者のみ解答できる。

4. 出願手続

(1) 出願書類等

1	出 願 カ ー ド	本学所定のもの。「出願カード記入上の注意」（13ページ）を参照しながら記入すること。「平成3年度大学入試センター試験成績請求票」（ <u>A</u> 前用）を所定欄に貼付すること。
2	入 学 志 願 者 マ ー ク ・ カ ー ド	「入学志願者マーク・カード記入上の注意」（15ページ）をよく読み、本学所定のマーク・カードに記入すること。
3	あ て 名 票	合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
4	調 査 書	出身学校長が作成し厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者は、当該試験等の成績証明書を提出すること。
5	健 康 診 断 書	平成元年3月以前の高等学校卒業者及び出願資格(3)に該当する者は「視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書（様式は特に定めない。）を提出すること。ただし、平成2年3月高等学校卒業者及び平成3年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。
6	検 定 料	郵便局振出しの13,000円の「普通郵便為替」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。 注) 1. 第1段階選抜の不合格者に対しては、11,000円を返還する。 2. 上記の1に該当する者は、平成3年3月31日までに申し出ること。 3. なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	検 定 料 納 付 書 (原符・領収証書)	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し、志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し41円切手を貼付すること。
8	受 験 許 可 書	他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出すること（様式は特に定めない）。
9	受 験 票 返 送 用 封 筒	本学所定の封筒に272円切手（速達料を含む）を貼付し、志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入すること。

(注1) 推薦入学合格者

国公立大学（私立産業医科大学を含む。）の推薦入学に合格した者は、本学を受験しても入学許可は得られない。

※ 当該大学に「推薦入学辞退願」を提出し許可を得た場合を除く。

(注2) 本学の推薦入学の志願者で、合格とならなかった者が、同じ学部に出願する場合は、上記出願書類等のうち、1. 2. 6. 7. 9のみとする。

(注3) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(2) 出願方法

① 出願書類を一括して、本学所定の封筒を用い書留速達で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者 …… 文教育学部事務部
理 学 部 志 願 者 …… 理 学 部 事 務 部
家 政 学 部 志 願 者 …… 家 政 学 部 事 務 部
封筒下欄の志願者欄に住所、氏名、第1志望学科及び専攻名等を明記すること。

なお、文教育学部及び家政学部の志願者のうち次に該当する者は、A・Bのいずれかを、理学部志願者のうち次に該当する者はI・IIのいずれかを記入すること。

- 文教育学部 地理学科、教育学科（心理学）、舞踊教育学科（舞踊教育学）
- 家 政 学 部 児童学科、被服学科、家庭経営学科
- 理 学 部 情報科学科

② 文教育学部の入学志願者は、同一学部内に限り第二志望まで出願できる。ただし、数学を選択した者は、地理学科、教育学科（心理学）及び舞踊教育学科（舞踊教育学）の範囲に限る。

家政学部の入学志願者は、同一学部内に限り第二志望まで認める。ただし、国語を選択した者は、食物学科を第二志望とすることはできない。

理学部は第二志望を認めない。

学部間の併願は認めない。

(注) 本学では、全学部が連続方式の「A日程グループ」により、入学試験を実施する。

本学に出願した場合は、連続方式の「A日程グループ」及び分離分割方式の「前期日程グループ」の他の大学・学部には出願することができない。

5. 出願期間

平成3年1月22日（火）から1月31日（木）までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、1月29日（火）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

6. 入学者の選抜方法

(1) 第1段階選抜

① 選抜方法

各学部とも出願者多数の場合に限り第1段階選抜を行うことがある。

文 教 育 学 部	大学入試センター試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員（推薦入学合格者数を除く。）の約6倍を合格者とする。
理 学 部	大学入試センター試験の国語（50点）、数学（50点）、理科（50点）、外国語（100点）の各教科の得点を合計したものを受験者成績とする。各学部とも、得点順に入学定員（推薦入学合格者及び帰国子女特別選抜合格者数を除く。）の約6倍を合格者とする。
家 政 学 部	大学入試センター試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員（推薦入学合格者数を除く。）の約6倍を合格者とする。

② 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果については、次のア又はイにより発表する。

ア. 第1段階選抜実施の有無	2月5日(火)の午後、学内本部棟前掲示板に掲示するとともに、実施しない場合は、志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。
イ. 第1段階選抜を実施した場合	2月8日(金)の午後、学内本部棟前掲示板に選抜の結果を発表する。合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を郵送する。

(2) 第1段階選抜合格者に対して、本学の入学試験を課し、その結果と大学入試センター試験成績調査書並びに健康診断書を総合して合格者を判定する。

(3) 本学の入学試験

① 期 日 平成3年2月25日(月) 学力検査

2月26日(火) 実技検査(文教育学部・舞踊教育学科のみ)

② 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目		備 考
※ 文 学 教 育 部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 教育学科(教育学) 教育学科(心理学) 舞踊教育学科(舞踊教育学) 舞踊教育学科(音楽教育学)	A	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	舞踊教育学科(舞踊教育学、音楽教育学)の志望者にはほかに実技検査を行う
	地 理 学 科 教育学科(心理学) 舞踊教育学科(舞踊教育学)	B	数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	
理 学 部	数 学 科		数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科(物理、化学、生物から1科目選択)	
	物 理 学 科		数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科(物理)	
	化 学 科		数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科(「化学」と「物理、生物から1科目選択」)	
	生 物 学 科		数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科(「生物」と「物理、化学から1科目選択」)	
	◇ 情 報 科 学 科		数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科(物理、化学、生物から1科目選択)	

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目		備 考
☆ 家 政 学 部	児 童 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	A	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	
	児 童 学 科 食 物 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	B	数学(数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	

* 数学のうち確率・統計については、高等学校学習指導要領の確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

※ 地理学科、教育学科(心理学)及び舞踊教育学科(舞踊教育学)志望者は、A・Bいずれかで受験すること。

◇ 情報科学科の志望者は、Ⅰ・Ⅱいずれかで受験すること。

☆ 児童学科、被服学科及び家庭経営学科志望者は、A、Bいずれかで受験すること。食物学科はBで受験すること。

③ 実技検査

○ 舞踊教育学志望者(第一志望、第二志望とも)に次の2種の検査を行う。

① ダンス(全員に課する)……………与えられた基礎運動及び創作

なお、希望者はこのほかに各種舞踊を加えてもよい。

② スポーツ(次のア～オから1種目を選択)

ア. 陸上競技(短距離走)

イ. 器械運動(マット運動)

ウ. バレーボール

エ. バスケットボール

オ. テニス(硬式又は軟式)

※本学所定の実技関係の調査用紙「そのⅠ実技検査の選択科目に関する調査」及び「そのⅡ舞踊と体育活動に関する調査」を本人が記入し出願書類と一緒に送ること。

○ 音楽教育学志望者(第一志望、第二志望とも)に次の検査を行う。

① ソルフェージュ

ア. 聴音: 1~4声部

イ. 新曲視唱

② 声 楽

下記の(i)、(ii)、(iii)のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。

(i) イタリア古典歌曲(原語)1曲を自由選択

(ii) イタリア古典歌曲(原語)1曲[(i)に同じ]、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択

(iii) イタリア古典歌曲(原語)1曲[(i)に同じ]、及びアリア(原語・原調)1曲を自由選択

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜(複写譜も可)に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。(返却しない。)

③ ピ ア ノ

下記の(i)、(ii)、(iii)のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。

(i) J.S.バッハ作曲の鍵盤音楽(3分以内)から1曲を自由選択

(ii) J.S.バッハの作品1曲[(i)に同じ]、及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択(ただし、緩徐楽章を除く。)

(iii) J.S.バッハの作品1曲[(i)に同じ]、及びショパンの練習曲集(作品10、作品25)から2曲を自由選択

(4) 平成3年度入学者選抜試験配点比率

学部名	学科名	試験の区分	教科等					配点合計	備考
			国語	社会	数学	理科	外国語		
文 教 育 学 部	A 全 学 科	入試センター試験	100点	50点	100点	50点	100点	400点	舞踊教育学科舞踊教育学・音楽教育学は実技検査を課し、総合判定の資料とする。
		本学の試験	200	—	—	—	200	400	
		計	300	50	100	50	300	800	
	B 地 理 学 科 教 育 学 科 (心 理 学) 舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学)	入試センター試験	100	50	100	50	100	400	
		本学の試験	—	—	200	—	200	400	
		計	100	50	300	50	300	800	

学部名	試験の区分	教科等						計	備考	
		国語	数学	理科	外国語					
理 学 部	入試センター試験	50点	50点	50点	100点			250点	入試センター試験(250点)と、本学の試験(400点)の成績をもとに合格判定を行う。 * 数学は「共通」	
		*数学	数学	数学	物理	化学	生物	計		
	本 学 の 試 験	数学科	100☆	200	—	(100)	(100)	(100)		400点
		物理学科	100☆	100	—	200	—	—		400
		化学科	100☆	—	—	(100)	200	(100)		400
		生物学科	100☆	—	—	(100)	(100)	200		400
		情 報 科 学 科	I	100☆	150	50☆	(100)	(100)		(100)
II	100☆		150	—	(150)	(150)	(150)	400		

☆ 数学の科目のうち、「微分・積分」を除く。()から1科目を選択

学部名	学科名	試験の区分	教科等					配点合計	備考
			国語	社会	数学	理科	外国語		
家 政 学 部	A 児 童 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	入試センター試験	100点	50点	100点	50点	100点	400点	
		本学の試験	200	—	—	—	200	400	
		計	300	50	100	50	300	800	
	B 児 童 学 科 食 物 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	入試センター試験	100	50	100	50	100	400	
		本学の試験	—	—	200	—	200	400	
		計	100	50	300	50	300	800	

(注) 三学部とも入試センター試験の理科を2科目以上受験した場合は、高得点の科目の成績を用いる。

(5) 入学試験日時割

学部・学科等		日 時	2月25日(月)	26日(火)
文 教 育 学 部	哲学 史学 地理学 国文学 外国文学 教育学 (教育学) (心理学)	A	国語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50
	地理学 教育学 (心理学)	B	数学 10:00~11:40	
	舞踊教育学 (舞踊教育学) (音楽教育学)	A	国語 10:00~11:40	実技(第一志望、第二志望とも) 10:00~
	舞踊教育学 (舞踊教育学)	B	数学 10:00~11:40	
理 学 部	数 学 科	I II	数 学 10:00~11:40	数学・選択(物理、化学、生物) 13:10~16:10
	物 理 学 科			物理・数学 13:10~16:10
	化 学 科			化学・選択(物理、生物) 13:10~16:10
	生 物 学 科			生物・選択(物理、化学) 13:10~16:10
	情 報 科 学 科			数学・選択(物理、化学、生物) 13:10~16:10
家 政 学 部	児童学 被服学 家庭経営学	A	国語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50
	児童学 食物画学 被服学 家庭経営学	B	数学 10:00~11:40	

(6) 身体に障害のある者の出願

本学に入学を志望する者で、次表に該当する者は、本学への出願に先立ち下記書類を同封の上、12月21日(金)までに入学主幹室へ申し出ること。

- ① 受 験 願 (高等学校等卒業見込者については、在学する学校の長の作成したもの、また高等学校等卒業見込者以外の者については、父母等が作成したもので、いずれも書式を問わない。)
- ② 診 断 書
- ③ 障害者手帳の写し

この申し出は、受験上、修学上特別の配慮が必要となる場合が起こりうるので、あらかじめその状況を把握するものである。

障害の種別	障害の程度
視覚障害者	1. 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2. 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなるとみとめられるもの
聴覚障害者	1. 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2. 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のもののうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2. 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3. 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4. 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5. 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないものうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状況が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

7. 検査場所 お茶の水女子大学（東京都文京区大塚
2丁目1番1号）

8. 合格発表

3月15日（金）12時頃 学内本部棟前掲示板に
発表する。

（注）電話等による合否の問い合わせには一切応
じない。

合格者には、発表当日、合格通知書及び入学の
関係書類を本学の入学試験の受験票と引き替えに
入学手続場所で交付する。（合格者の代理人でも
差し支えない。）ただし、16時までには受領しない
者については、郵送する。

※ 電子郵送による合格者受験番号表送付希望
について：

(1) 申込方法

入学試験受験票を郵送する際、所定の用
紙を同封するので希望者は必要事項を記
入し510円切手を貼付の上、試験当日持
参し、申し込むこと。

(2) 申込日時：2月25日（月）

11時30分～16時30分

(3) 申込場所：本学講堂

(4) 受付者：小石川郵便局職員

(5) 受信日：3月15日（金）

(6) 電子郵便の内容

志願した学部ごとに合格者全員の受験番
号が記載されている。従ってこれに自分
の受験番号がのっていない場合は不合格
である。

（注）上記の電子郵便以外の合否電報等は、
本学とは一切関係ないので注意すること。

9. 入学手続等

(1) 入学手続

手続期間	3月19日(火) 10:00~12:00、13:00~16:00 20日(水) 10:00~12:00、13:00~16:00 ただし、都合により上記日時に手続が行えなかった者は、3月27日(水)10時~17時に手続を行うこと。 3月27日までに手続をしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。
手続場所	本学一般教育2号館
留意事項	本学に入学手続を完了した後にこれを取り消して他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)に入学手続をすることはできない。

(2) 手続事項

提出書類	平成3年度大学入試センター試験受験票
入学料	206,000円
授業料	前期分 187,800円 (改定予定額) (年額 375,600円) (改定予定額) (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できる制度を設ける予定である。

10. 追加合格通知

欠員が生じた場合は、3月28日以降に電話で追加合格の通知を行うことがあるので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。

11. 問い合わせ先

お茶の水女子大学 入学主幹室 入学試験係
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
問い合わせの場合は返信用封筒(切手貼付)を同封し、返信先を明記すること。

12. テレホンサービスについて

○出願状況のテレホンサービス

1. 実施期間等

平成3年1月23日(水)~2月1日(金)

2. テレホンサービスの内容

各学科等の倍率

3. 電話番号 (03) 3946-5109

※ 第1段階選抜結果(2月8日発表)及び追加合格を行う学科等についても上記と同様にテレホンサービスを行う予定です。

平成3年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

1. 専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲学専攻 { 哲学 倫理学 美学 社会学 }	8	中国文学専攻	4
		英文学専攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学 }	8	教育学専攻 { 教育学 心理学 }	12
地理学専攻	6	舞踊教育学専攻 { 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演奏学 }	10
日本文学専攻	8		

2. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成3年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第70条第1項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

3. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業(又は見込)証明書
- (3) 推薦書 指導教官又は主任教官等により作成されたもの(形式随意)
- (4) 調査書 用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 正面上半身の名刺型で、出願前3か月以内に撮影したもの3枚。願書の指定欄にはる。
- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、62円切手をはる。
- (8) 受験承諾書 他大学の大学院に在学中の者は学長又は研究科長の受験承諾書、在職中の者は所属長の受験承諾書
- (9) 検定料 22,000円
前記書類等を一括し、所定の期日までに本学

に提出のこと。ただし、郵送するときは書留速達郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

4. 出願期間・願書受付場所

(1) 出願期間

平成3年1月11日(金)から1月18日(金)までの間。ただし、12日(土)、13日(日)、15日(祝日)を除く。

午前9時～12時 午後1時～3時

なお、郵送の場合は締切日までの消印有効

(2) 受付場所

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
本学文教育学部事務部(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車)

5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、調査書及び健康診断書等の結果を総合して行う。

(1) 選考期日

平成3年2月1日(金) 2月2日(土)

(2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名		2/1(金)筆記試験		2/2(土)口述試験 (10:00～)	備考			
		外国語 (10:00～11:30)	専門科目 (13:00～15:00)					
哲学専攻	哲学	英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。	哲学	左の専門科目及び英・独・仏語のうち左記外国語試験で選択しなかった1か国語	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。			
	倫理学		倫理学					
	美学		美学					
	社会学		社会学					
史学専攻	日本史学		日本史学			東洋史学	西洋史学	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
	東洋史学		東洋史学					
	西洋史学		西洋史学					
地理学専攻						地理学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
日本文学専攻						国文学及び国語学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
中国文学専攻						中国語学及び中国文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。
英文学専攻			英語・英語学及び英米文学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。			
教育学専攻	教育学		教育学		学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。			
	心理学		心理学					
舞踊教育学専攻	舞踊教育学		舞踊学及び論文 論文は志望する専攻出題の課題を選択する。	舞踊実技を課することがある。	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。			
	遊戯学							
	動作学							
	音楽学		西洋音楽史又は日本音楽史	演奏(任意の楽器又は声、曲目は自由)を課することがある。				
	演奏学			10分程度の演奏実技(曲目は自由)を課する。				

- 註 イ. 上記の選択科目については、出願の際届け出るものとする。
- ロ. 口述試験は、主として志望する専攻又は学士論文について行う。
- ハ. 学士論文を提出できない事情のある者は、その旨申し出ること。
- 二. 舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

(3) 試験場所

お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

6. 入学料及び授業料

入学料 206,000円
授業料(年額) 375,600円

7. 合格者発表

平成3年2月8日(金) 12時頃、学内に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教教育部事務部で受験票と引き替えに交付する。都合により当日、来学できない合格者には、本人に郵送する。

8. 注意事項

- (1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出席することはできない。
- (2) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しは行わない。

(3) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。

(4) 「外国人留学生」に関しては、学生部学務課留学生係で取り扱うので、同係に問い合わせること。

平成2年11月

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学

電話：東京(03)943-3151(大代表)

お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程概要

1. 目的及び使命

本学大学院は本学の目的、使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

2. 修業年限 2年

3. 専攻及び学生定員 人文科学研究科に次の専攻を置き、学生定員は次のとおりとする。

専攻名	入学定員	総定員	専攻名	入学定員	総定員
哲学専攻	8	16	中国文学専攻	4	8
史学専攻	8	16	英文学専攻	8	16
地理学専攻	6	12	教育学専攻	12	24
日本文学専攻	8	16	舞踊教育学専攻	10	20
			計	64	128

4. 授業科目履修方法及び課程の修了

(1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻の授業科目について30単位以上履修しなければならない。

ただし、研究指導を担当する教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、他の専攻、他研究科又は学部の授業科目を指定して履修させ、これを当該専攻の単位とすることができる。

(2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

5. 学位授与

本研究科において、課程を修了した者に対しては、文学修士の学位を授与する。

6. 専攻別主要授業科目・担当専任教官

専攻	主な授業科目	担当指導教官
哲学専攻	哲学特論・演習	教授 吉田夏彦 教授 土屋賢二 助教授 羽入佐和子
	倫理学特論・演習	教授 尾田幸雄 助教授 高島元洋
	美学特論・演習	教授 辻佐保子 助教授 秋山光文
	社会学特論・演習	教授 宮島 喬 教授 米村昭二 助教授 江原由美子
史学専攻	日本史学特論・演習	教授 青木和夫 教授 大口勇次郎 助教授 安田次郎 助教授 小風秀雅
	東洋史学特論・演習	教授 窪添慶文 (未定)
	西洋史学特論・演習	教授 平野 孝 助教授 山本秀行
地理学専攻	人文地理学特論・演習	教授 井内 昇 助教授 栗原尚子
	自然地理学特論・演習	助教授 田宮兵衛 (未定)
	地誌学特論・演習	教授 式 正英 教授 内藤博夫
日本文学専攻	上古中古文学特論・演習	助教授 平野由紀子 助教授 岩崎千鶴
	中世近世文学特論・演習	教授 堤 精二 教授 三木紀人
	近代文学特論・演習	教授 浅井 清 助教授 大塚常樹
	国語学特論・演習	教授 市川 孝 教授 白藤禮幸
	中国文学専攻	中国文学特論・演習 中国語学特論・演習

専攻	主な授業科目	担当指導教官
英文学専攻	英文学特論・演習	教授 野島秀勝 助教授 内田正子
	米文学特論・演習	教授 酒本雅之 教授 海老根静江
	英語学特論・演習	教授 宮川幸久 教授 湊 和夫 助教授 今西典子
教育学専攻	教育学特論・演習	教授 上野浩道
	教育史特論・演習	助教授 寺崎弘昭
	教育社会学特論・演習	助教授 耳塚寛明
	教育行政学特論・演習	教授 森 隆夫
	教育方法学特論・演習	助教授 宮原 修
	教育経営学特論・演習	(未定)
	社会教育学特論・演習	教授 小川 剛
博物館学専攻	博物館学特論・演習	助教授 鷹野光行
	文化人類学特論・演習	教授 田中真砂子
	教育心理学特論・演習	助教授 内藤俊史 (未定)
	発達心理学特論・演習	教授 藤永 保 教授 春日 喬
	認知心理学特論・演習	教授 内田伸子 助教授 石口 彰
舞踊教育学専攻	舞踊教育学特論・演習	助教授 片岡康子 (未定)
	遊戯学特論・演習	教授 加賀秀夫 助教授 石黒節子
	動作学特論・演習	教授 森下はるみ
	音楽学特論・演習	教授 徳丸吉彦 (未定)
	演奏学特論・演習	教授 遠藤秀一郎 助教授 林 廣子

専攻	主な授業科目	担当指導教官
関 連 科 目	独文学特論・演習	教授 杉本正哉
		教授 石丸昭二
	仏文学特論・演習	教授 中川 信
		教授 石川 宏
		助教授 中村弓子
	日本語文化特論	教授 水谷信子
	現代日本語学演習	助教授 平田悦朗

諸 報

○平成2年9月卒業式・学位記授与式について

本年9月卒業式・学位記授与式が9月28日（金）
大学会議室に於て行われた。

- ・ 卒業者 文教育学部 1名
- 家政学部 1名

- ・ 修了者 人文科学研究科 2名
- 家政学研究科 6名
- 人間文化研究科 1名



○学位授与（學術博士）

授与番号	授与年月日	氏 名	本 籍	論文題目
甲-18	平2.9.28	兪 玉姫	大韓民国	俳諧における〈季節観〉の研究－芭蕉を中心として－

○総合防災訓練について

防災週間にあわせて、9月5日（水）全学教職員及び学生・生徒等を対象に大地震の発生を想定した避難訓練が行われた。



○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
文教育学部 助教授	相原 茂	中華人民共和国	第三回国際漢語教学シンポジウム 出席及び資料収集	2.8.10～ 2.8.21	研修
文教育学部 助教授	栗原 尚子	イタリア共和国 スペイン国	E C加盟に伴うスペイン農業の変化	2.7.23～ 2.8.24	出張
文教育学部 助教授	西尾 道子	連合王国	英語担当教員の英語教授法の研究	2.6.29～ 2.8.27	出張
家政学部 教授	中村 隆英	ベルギー王国	国際経済史学会において共同報告のため	2.8.18～ 2.8.27	出張
理学部 助教授	佐藤 浩史	アメリカ合衆国	電子・分子衝突の理論的研究	2.7.16～ 2.8.31	研修
理学部 教授	福田 豊	フランス共和国・スイス連邦・ドイツ連邦共和国・オーストリア共和国・チェコスロバキア社会主義共和国	第28回配位化学国際会議・第41回電気化学国際会議研究発表および共同研究のため	2.7.26～ 2.9.3	研修
理学部 助教授	藤枝 修子	イタリア共和国	第11回IUPAC化学熱力学会議 に出席	2.8.20～ 2.9.3	研修
文教育学部 教授	中川 信	フランス共和国	フランス文学に関する調査・研究	2.8.6～ 2.9.4	研修
文教育学部 教授	徳丸 吉彦	アメリカ合衆国	民族音楽学に関する資料収集	2.8.31～ 2.9.7	研修
理学部 助教授	馬場 昭次	イタリア共和国	比較精子に関する国際会議出席及びシエナ大学にて研究打合せ	2.8.29～ 2.9.9	研修
理学部 助教授	林 正男	イタリア共和国	第3回欧州細胞生物学会出席及び研究資料収集のため	2.8.27～ 2.9.10	出張
文教育学部 教授	小川 剛	象牙海岸共和国	日本青年海外派遣事業参加のため	2.9.2～ 2.9.20	出張
理学部 助手	豊島 陽子	連合王国	欧州分子生物機構ワークショップ 出席・講演及び研究連絡	2.9.8～ 2.9.21	研修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
家政学部 助教授	畑江敬子	連合王国	国際冷凍協会食品科学技術学会で 研究発表するため	2.9.16～ 2.9.24	研修
文教育学部 教授	辻佐保子	フランス共和国	Facades Romanes学会（ポワテ イエ大学中世研究所開催）出席な らびに資料収集	2.9.6～ 2.10.5	研修
家政学部 助教授	袖井孝子	アメリカ合衆国	日本の高齢化について講演	2.9.15～ 2.10.8	研修
文教育学部 教授	大口勇次郎	フランス共和国 イタリア共和国 連合王国	欧州における日本研究の歴史と現 状に関する研究及び資料収集	2.8.10～ 2.10.9	出張
文教育学部 教授	宮島喬	フランス共和国	「移民少数者の統合に関する国際 集会」に参加のため	2.10.5～ 2.10.14	研修
家政学部 教授	中島利誠	イタリア共和国・デ ンマーク王国・フラ ンス共和国・連合王 国・ドイツ連邦共和 国・アメリカ合衆国	欧米各国繊維科学・繊維工学教育 の現状と問題点の調査	2.9.30～ 2.10.15	研修

○研修

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
平成2年度関東・甲信越地区 国立学校等係長研修	平成2年 9月18日 ～ 9月21日	(1)係長又は係長相当 の職にある者 (2)年令50歳以下の者 (3)勤務成績が優秀な 者	庶務課文書係長・和賀由子 庶務課大学院係長・川島清人 学生課学生係長・岡田健一	文部省・東京工 業大学及び東京 商船大学
第41回文部省会計事務 特別研修	平成2年 9月25日 ～ 10月12日	現在会計事務に従事 し、かつ、1年以上 会計事務の経験を有 する者又はそれに相 当する者で原則とし て年齢25歳以上30歳 以下の者	会計課用度主任・西原敏雄 会計課一般係員・吉井 稔	文部省

○レクリエーション行事

行 事 名	実施日時	参加者数	内容・入賞者（チーム）等	実施場所
平成2年度 映画鑑賞 （第一回）	平成2年 7月21日 ～ 8月31日	130人	題名 「タスマニア物語」「少年時代」「天と 地と」「クライシス2050」他	都内近郊映画館
国際水族館と展望台	平成2年 9月19日～	50人	見学並びに観覧	サンシャインシ ティ
平成2年度 職員ソフトボール大会	平成2年 9月10日、11日 9月20日、21日 17時～18時	120人	優勝 各附属学校 } チーム 附属学校部 } 準優秀 文教育学部・家政学部 } チーム 生活環境研究センター } 第3位 庶務課・施設課 } チーム 人間文化研究科 }	大学グラウンド

行 事 名	実 施 日 時	参 加 者 数	内 容 ・ 入 賞 者 (チ ー ム) 等	実 施 場 所
平成2年度 職員硬式テニス大会	平成2年 10月6日 13時～17時	25人	優勝Aチーム 藤原正彦(理学)・高田洋一(会計) 富山 弘(庶務)・加藤裕二(附学) 川上典子(附図) 準優勝Dチーム 五十嵐 脩(生環セ)・杉山 進(舞 踊)石川千一(施設) 加藤誠一(会計)・傳田美千代(会計) 第3位Cチーム 古賀 智(附図)・村田容常(食物) 峯村 薫(会計)・柴田正造(会計) 林 美恵子(施設)	大学テニスコート



(職員ソフトボール大会)



(硬式テニス大会優勝のAチーム)

○健康診断

事 項	実施期日	対 象 者	受 診 者 数	実施場所
平成2年度職員特別定期健康診断(第一次)	平成2年 9月21日	自動車運転手	3人	保健管理センター

○人事院規則9-80(扶養手当)の一部改正について

被扶養者の所得限度額が年額100万円以下となっていました。この度の改正でその限度額が年額110万円以下となりました。

なお、新たに改正後の要件を満たす扶養親族を有する方は庶務課人事係で手続きをして下さい。

日 誌

(2.8.16~2.10.15)

- 8月20日(月) 平成3年度家政学研究科願書受付(～24日)
公開講座受付(～25日)
- 21日(火) 平成3年度大学入学選抜大学入試センター試験入試担当者連絡協議会(於虎の門パストラル)
- 24日(金) 3年度理学研究科願書受付(～31日)
- 25日(土) 高校生のための国公立大学進学説明会(於鹿児島市)
- 31日(金) 公開講座受付締切
- 9月1日(土) 始業式(小・中・高)
- 3日(月) 公開講座手続き開始(～6日)
- 5日(水) 総合防災訓練
- 6日(木) 教職課程専門委員会
- 8日(土) 夏期休業終了
- 10日(月) 理学研究科入試(～11日)
附属学校委員会
- 11日(火) 始業式(幼稚園)、理学研究科入試(化学専攻)、教務委員会、附属学校連絡会
- 12日(水) 研究科会議、一般教育検討小委員会、文・入試方法検討委員会
- 13日(木) 家政学研究科入試
- 14日(金) 事務連絡会、一般教育委員会、東京地区国公立大学厚生補導部課長会議(東京芸術大学)、臨海実験所運営委員会

○訃報

蒲 生 裕 子(附属高等学校教諭)

附属高等学校教諭蒲生裕子氏には病気のため平成2年9月10日逝去されました。享年51才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

- 17日(月) 前期末試験(17日、25日～29日)、理学部入学者選抜方法検討委員会、自然科学紀要編集委員会、家政学部入試検討委員会、平成3年度教育実習事務担当者説明会(都教育研)、幼稚園防災訓練
- 18日(火) 部局長会議、各学部主任会議、情報処理センター運営委員会、生活環境研究センター運営委員会、関東甲信越地区国立学校等係長研修(～21日)
- 19日(水) 各学部教授会、各研究科委員会
附属学校教育研究委員会
- 20日(木) 理学研究科合格発表、家政学研究科合格発表、一般教育・時間割り編成小委員会
- 23日(日) 輝鏡祭(高校)(～24日)
- 25日(火) 部局長会議、前期末試験(～29日)、文部省会計事務研修(～10月12日)
- 26日(水) 評議会、将来構想検討委員会、文教育学部の将来を考える会、理学部入学者選抜方法検討委員会、平成2年度留学生担当者研修会(～28日)
- 27日(木) 入学者選抜方法研究小委員会
- 28日(金) 9月卒業式・学位記授与式
- 29日(土) 附属高等学校卒業式、公開講座(第1回)、生徒祭(附属中)(～30日)
- 10月1日(月) 外国人留学生実地見学旅行(～3日)
- 2日(火) 第28回全国大学保健管理研究集会(～3日 於国立教育会館)

- | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------|
| 4日(木) | 関東甲信越地区庶務部課長会議(～5日)、第11回全国国立大学学生部長協議会(～5日)第2回国立大学保健管理施設協議会(於新潟大学)(～5日) |
| 6日(土) | 公開講座(第2回) |
| 7日(日) | 附属小学校運動会
附属幼稚園運動会 |
| 8日(月) | 学寮委員会・学寮協議会、後期授業開始 |
| 9日(火) | 文・入試方法検討委員会、附属学校連絡会 |
| 11日(木) | 入学者選抜方法研究小委員会、一般教育委員会、附属学校委員会 |
| 12日(金) | 事務連絡会、一般教育委員会、総合コース小委員会、入学者選抜方法研究委員会 |
| 13日(土) | 公開講座(第3回) |
| 14日(日) | 附属中学校体育大会 |
| 15日(月) | 入学試験委員会、教務委員会、理学部入学者選抜方法検討委員会、人文科学紀要編集委員会 |